

がん・バツテン・元気隊 特別講演会

今、学校でがん教育が始まる

多忙ながんセンター長が、
教員免許を取ってまで子供たちに伝えたい「がんのこと」!

林 和彦 先生 講演会



プロフィール

● **林和彦**（東京女子医科大学がんセンター長）
千葉大学医学部卒業後、東京女子医科大学消化器外科入局。同大学助手・講師を経て化学療法・緩和ケア科教授。2014年より東京女子医科大学がんセンター長。厚生労働省の緩和ケア推進検討会などのメンバーとして、国のがん対策にも関わる。がん教育を実現するために、東京福祉大学教育学部に入学、今年3月、無事教員免許を取得した。56歳。

先日、NHK「あさイチ」で、林先生と子供たちの生き生きとした授業光景が放映され、日本中の感動を呼びました。がん教育はいのちの授業でもあります。分かりやすく人間味あふれる講演です。ぜひ、ご参加ください。

日時 2017年11月11日（土） 18:00～20:30
会場 福岡市民福祉プラザ601（福岡市中央区荒戸 3-3-39 ☎092-731-2929）
参加費 500円（先着 100名）
主催 福岡がん患者団体ネットワーク がん・バツテン・元気隊（代表・波多江伸子）
申し込み 参加者の住所・氏名・所属・連絡先を書いて、E-mail または FAX で。
E-mail : hatae-nobuko@jcom.home.ne.jp FAX 092-873-2372
問い合わせ電話 090-9591-7469（波多江）

● 会場で林先生の著書販売
「がん」になるってどんなこと？（セブン&アイ出版） 定価 1400円（税抜き）

